



# 双塔

カトリック新潟教会

2015年10月  
No. 329

## 露寒があっても、み業を称えることは

助任司祭 ナジ・エデルベルトゥス

そぞろ寒のみぎり、お変わりなくお過ごしのことと存じます。10月になると“うそ寒、秋寒、露寒”と云う言葉を聞くことになるでしょう。年配で何処へも足を運ばない方々は、寒さを早く感じるので靴下を沢山履けばよいと思います。

夏の間色々な所へ旅する方もいれば、家にずっといる方も沢山いると思います。何処へも旅しなくても何かを発見して満足出来る人もいれば、あちこちへ行っても大切なことが見つからないと考え感謝に至らない人もいますね。損得、成功と失敗という考えを持つ社会の中にいる私達の気持ちも、それによって簡単に変化することはよくあるかと思えます。

でも、私達は地上の物の損得を体験するために創造されたわけではありません。それで1日の悲しみは1日で済んで延ばさないように勧められたのです。神様と出会うために創造されたので、前向きに、しかも神と共に謙虚に歩むようにとミカ預言者が、神様が好まれる事を勧められます（ミカ6・8）。

勉強を沢山しても、よく旅に出て、巡礼にも参加しても、心を神様に向けさせず神との出会いと親しい絆に繋がらず、死後に神様との親しい関係を体験できないと云う不安があると疲れます。地上で生きている間に、しかも足腰が弱くて同じ場所においても、神様との会話を大切にしよう、10月1日に記念されることになっている小さきテレサの人生によって、大切なメッセージが示されるかなと思います。親しい対話による、イエス様との一致への旅です。

聖なるテレサは、外国宣教に参加したい気持ちが凄く強かったそうです。しかし、彼女は若くて、体もそんなに丈夫ではなかったそうです。それで外国宣教の憧れが満たされませんでした。イエス様と毎日親しく話をする事にしました。彼女の伝記を読むと大変な状況の中にあっても、彼女がイエス様と親しい話しをして、他人に安心感をもたらしたそうです。布教のために巡回しなくても、彼女は福音宣教師達の保護の聖人として知られています。何処へも行くことが出来なくても、神様から遣わされたイエス様との話ができたから充実感に満たされた人です。

先ず心の旅を考える上で、季節の恵みを体験し、喜ぶ人と共に喜ぶことにすればよいと思います。10月は人間にも、熊や狸さんにも喜びがある月です。木の実を手に入れる月でしょう。妬みを抱かず、大地の実りを他の人と共に喜び祝うことも神の栄光を語る道であり、務めであると思います。聖ロベルト・ベラルミノによると、神の栄光を語ることはキリスト信者の生活の中心であり、目的であり、本当の宝である。暇があれば月を見る狸さんの招きに従いましょう。月を眺め、神の業を称えることは神に創造される者には相応しい……。



## そよかせ便り



### ■ 新しくなってスタート『信仰養成講座』----- 9月12日(土) 10:00 ----- 《 知ってるつもり?! ~ 典礼のしるし、ことば、動作 ~ 》

『信仰養成講座』と厳めしい名前だけに敬遠しがち(筆者もその一人)だが、9月から始まった講座はタイトル通り、親しみやすく、講師はラウル神父様。初回は「典礼は幅広く、7つの秘跡と聖務日課も含まれる」と始まり、「典礼行為の中にイエス様がおられ、司祭を含めて私たち一人一人がイエス様の祭司職にあずかる(参与)ことである」と分かりやすいお話!この日は、典礼の歴史にも触れ、西方教会、東方教会の区分けや経緯を具体例で説明された。「知っているつもり」でいることが、改めて「典礼のしるし、ことば、動作、そして“効果”を知ること、もっと積極的にミサに与ることができる」と話された。

講座は、原則として毎月第2土曜日 10:00 から研究室にて開催。



### ■ 敬老のミサ ----- 9月13日(日) 9:30 -----

-- 老いに伴う力の衰え、病い、孤独のうちにも 神は力と恵みをくださる ~中略~  
いつくしみ深い、愛に満ちた父なる神に信頼しよう、その恵みと力は永遠だから --

秋めいた日曜日、ラウル神父様の司式で「敬老のミサ」が捧げられた。神父様は、聖ヨハネ・パウロ二世の「高齢者への手紙」を引用されてお話を始められ、集った人々は、その美しい祈りに耳を傾けた。「年をとって、教会のことは何もできないかもしれない。でも、苦しみの中で神の救いの計画に参加することができる」、「私たちの苦しみは無駄ではない。そこには救いの力がある」と神父様は語りかけられた。聖堂には、ちびっ子たちの大きな歌声が響き、みんなの微笑みを誘い、心が温められた。また、三崎神父様に霊名の花束が贈られ、神父様は「できるだけ頑張りたい」とご挨拶。「三崎神父様は日曜の朝ミサを司式されています」と、ラウル神父様が紹介。最後に全員で「しあわせなかたマリア~♪」を歌い、ミサ後には、神父様たちと記念撮影をする人たちの姿も見られた。

その後は、信徒会館に移動。総務部が用意して下さったお菓子やお茶を飲みながら近況や健康のことなどのお喋りを楽しんだ。

